

未来に残せるキャンパス計画

7号館の移転に伴う1号館のプランニング及び家具製作

プロジェクト背景と目的

本学7号館が老朽化の影響により1号館へ移転する話を聞き、その計画と共に1号館をより過ごしやすい場所に出来ないかと考えた。

橋本研究室では、NIASプロジェクトにおいて家具の作成や旧製図書・トレーニングルームの改修工事を行ったことがある。また、橋本彼路子先生は全国の5つの大学を訪問しヒアリング調査を行い、女性支援室の計画をした実績がある。

これまでの活動や研究成果を活かし、教員や学生にヒアリング調査を通して、1号館のプランニングを考え、皆さんの検討のたたき台を提案したいと考えた。

今年度の活動

1. ヒアリング調査
2. 女性支援室のプランニング
3. 家具の作成



作業の様子

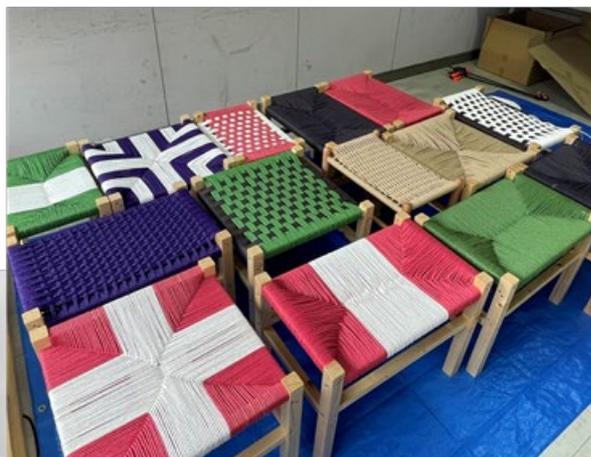
結果報告

女性支援室を考える上で、女子学生数名に話を聞いた。その中でも特に体の弱い学生は、完全に横になれるベッドよりも少し寄りかけられるや包まれる椅子の方が休みやすいということが分かった。調査の結果をもとに、彩り・自然素材・維持、管理をコンセプトに二つの案を考えた。計画の中に学生で作成した椅子を取り入れた。木材やみつろうなど自然素材のものを使ってフレームを作り、カラフルなペーパーコードで座面を編んだ椅子を14個作成した。



▼案2 パース

▲案1 パース



作成した14個の椅子